

# 研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内視鏡および治療内視鏡でみる逆流防止機構の解剖所見とその動的変化

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2015年4月から2024年4月までに昭和大学江東豊洲病院で治療内視鏡(内視鏡的逆流防止粘膜切除術: ARMS)を受けた患者さん、および上部消化管内視鏡時に内視鏡的内圧測定統合システム(EPSIS)を用いて評価を行った患者さん

## 2. 研究目的・方法

胃食道逆流症を予防する逆流防止機構として、さまざまな解剖学的要素が知られています。消化管壁内のものについては、IM-ARB complex(壁内・逆流防止機構複合体 Intra-mural anti-reflux barrier complex)として、下部食道括約筋(LES), Collar sling muscle fiber, Clasp muscle fiberが報告されており、これらは胃での内視鏡からの送気量とともに形態が多く変化することが実臨床で経験されていますが、実際の内視鏡所見と解剖がどのように対比するのはこれまで検討されていません。今回食道胃接合部の逆流防止機構が、内視鏡治療時に解剖学的に同定することが可能か、また内視鏡からの送気を加えた場合の動的変化について後ろ向きに検討を行います。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年3月31日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、内視鏡治療中の筋層所見、内視鏡観察中の解剖学的所見および胃内圧値

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

## 6. 研究組織

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院消化器センター 田邊万葉

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター

氏名：田邊万葉

住所：江東区豊洲 5-1-38

電話番号： 03-6204-6828